

水稻用初・中期一発処理除草剤



ゴエモン[®]ジャンボ



除草のすご腕、
ここに参上。

直播水稻にも
使用可能!

ノビエをはじめ、さまざまな雑草に優れた効果!



ノビエ

ホタルイ

コナギ

アゼナ

ウリカワ

ミズガヤツリ

ゴエモン[®]ジャンボ

ノビエに卓効の新規成分配合

イプフェンカルバゾンの配合により優れた効果を発揮

さまざまな雑草に優れた効果

多年生雑草・SU抵抗性雑草に有効

移植直後から使用可能

イネに対する高い安全性と雑草防除の省力化に貢献

適用と使用方法

有効成分:イプフェンカルバゾン…8.33% イマズスルフロン…3.0% プロモプロチド…30.0%

主要雑草に対する使用適期

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ ヘラオモダカ、ミズガヤツリ オモダカ、クログワイ コウキヤガラ、シズイ ウリカワ、ヒルムシロ、セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植直後～ ノビエ2.5葉期 ただし、 移植後30日まで	小包装(パック) 10個(300g)/10a	1回	水田に小包装 (パック)のまま 投げ入れる
直播水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ ミズガヤツリ、ウリカワ ヒルムシロ、セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	稲1葉期～ ノビエ2.5葉期 ただし、 収穫90日前まで			


ホタルイ ミズガヤツリ	3葉期まで
ヘラオモダカ ウリカワ	2葉期まで
オモダカ クログワイ コウキヤガラ	発生始期まで
ヒルムシロ	発生期まで
セリ	再生前から 再生始期まで
シズイ	草丈3cmまで
アオミドロ・藻類 による表層はく離	発生前まで

[有効成分の総使用回数]イプフェンカルバゾンを含む農薬の総使用回数:2回以内 イマズスルフロンを含む農薬の総使用回数:2回以内 プロモプロチドを含む農薬の総使用回数:2回以内 (2019年9月現在の登録内容)

上手な使い方

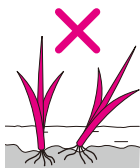
1 均平化作業・植付けはていねいに!

田面が凹凸していると薬剤が均一に広がらず、効果不良・薬害の原因になることがあります。



2 移植深度は適正に!

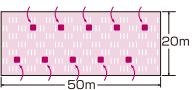
極端な浅植では根が露出し薬害原因となります。根が土壌中に隠れるよう、適正な移植深度に田植機を設定してください。



3 散布時の注意!


- 水深5～6cmで散布。
- 藻類、浮草が発生する前に散布。
- 「濡れた手」で扱わない。
- バックを破らずに投げ入れる。

10アール(1反)では10個を投げ込む(6～10m間隔)で。



4 散布後の注意!

散布後3～4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は、落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。



使用上の注意

- 雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに時期を失しないように使用してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に使用するよう注意してください。
- 藻類または表層はく離の発生しやすい水田では、有効剤との組み合わせで使用してください。
- 苗の植え付けが均一になるように整地、代かきはていねいに行い、フラクすなどの浮遊物はできるだけ取り除いてください。また、未熟有機物を施用した場合は特にていねいに行ってください。
- 処理に当っては、水の出入りを止めて5～6cmの湛水状態に保ってください。処理後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、田面を露出させたり、水を切らしたりしないようにし、また、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。自然減水により田面の一部が露出するようになつたら、水尻を止めて通常の水深になるまで水を入れて水口を閉じてください。
- 本剤は小包装(パック)のまま、10アール当り10個の割合で水田に均等に投げ入れてください。
- 藻や浮き草が多発している水田では拡散が不十分となり、部分的な薬害や効果不足の可能性があるので使用をさけてください。
- 直播水稲で使用する場合、稲の根が露出する条件では薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- バックに使用しているフィルムは水溶性なので、濡れた手で作業したり、降雨で破袋することがないように注意してください。
- 以下のような条件では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
 - ①砂質土壌の水田および漏水の大きな水田(減水深が2cm/日以上)
 - ②軟弱な苗を移植した水田
 - ③極端な浅植の水田
- 著しい多雨条件では、除草効果が低下する場合がありますので使用をさけてください。
- 移植前に生育したミズガヤツリには効果が劣るので、物理的防除方法などを用いて移植前に防除してから使用してください。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のものまでは十分な効果を示さない場合がありますので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- その生育特性から、いくさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分注意してください。
- いくさ栽培予定水田では使用しないでください。
- 使用した水田の田面水は、他作物の湛水に用いないでください。
- 使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 濡れた手で触らないでください。
- 水溶性フィルム包装が破袋した場合は以下の点に注意してください。
 - ①眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
 - ②かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。 ● ラベルの記載以外には使用しないでください。 ● 小児の手の届く所には置かないでください。 ● 空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

